

# Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol.35  
2025 SPRING



Bing image creatorを使用して制作したAI生成画像です

巻頭特集

第61期経営計画発表会

インタビュー対談

人生100年時代を健康で輝き続けるために

三永ビルド株式会社 代表取締役 山口義浩様

# ユタコロジー株式会社 第61期経営計画発表会を 開催しました

1月24日、サイプレスガーデンホテル(熱田区金山)にて第61期経営計画発表会を開催しました。

発表の目的は

- (1) 60期の振り返りとユタコロジーの現在地点の確認(課題と対策)
- (2) 2030年ビジョンと今期計画の発表
- (3) 価値の共感創造

です。



来賓企業様を含め40名にご参加いただき、ユタコロジーのいまと未来についてお伝えしました。

ポストコロナの現在、企業はその個性や独自性を発揮し、クオリティリーダーシップが求められると言われていますが、弊社ユタコロジーに於いては、お客様方々に支えていただきながら、積み上げてきたものをどう活かし、そして未来にどう向かうのかについて報告いたしました。



## 来賓企業一覧

- ・株式会社アフェクトホールディングス
  - ・上島会計事務所
  - ・株式会社十六銀行
  - ・十六TT証券株式会社
  - ・有限会社昭和装備
  - ・セイフラインズ株式会社
  - ・株式会社 中部経済新聞社
- ・ノザキ株式会社
  - ・野村證券株式会社
  - ・富士凸版印刷株式会社
  - ・株式会社三菱UFJ銀行
  - ・矢作ビル&ライフ株式会社
  - ・株式会社ヤマナカ
  - ・株式会社リブライト

※五十音順・敬称略

# 「今日よりも良いと思える明日を創る」会社になる取り組み

## ビル環境事業



当社ではビル環境事業を、人々のWell-being維持・向上の根幹を担う仕事であると考え、「快適空間の創造 × 環境改善の見える化 × SDGsでつながる」で、総合ビルメンテナンスサービスとして、地球にやさしく、清潔で心地よい空間を提供しています。



▲「今日よりも良いと思える明日を創る」組織体制

### 快適空間の創造

公共施設、商業施設、大学施設、オフィスビル、工場などの景観維持、衛生管理、設備管理、修繕を行なうことで快適空間創造のお手伝いをしています。

### 品質・環境・安全改善のための「見える化」

当社では、ご依頼いただいた作業を写真で撮影。お客様にビフォーアフターをご確認いただけるよう、作業の「見える化」を進めて品質改善に努めています。

### SDGsでつながる

環境への配慮を重視した作業、脱炭素へのご要望にも対応可能です。CO2排出に関してSCOPE1、SCOPE2の管理をしており、お客様のバリューチェーンでのCO2削減に貢献しています。

## Well-being事業

建物と人の“キレイ”と“健康”に寄与する事業を展開してきた独自の視点から「女性の一生」に着目し、企業のWell-being推進支援サービスやFemcare商品提供を行っています。また、産学連携による女性活躍推進プロジェクトにも携わるなど社会貢献にも力を入れています。

椋山女学園大学(名古屋市)の東ゼミとの産学連携プロジェクトでは、学生の学生による学生のための就活応援マガジンを制作。学生が社会で輝く女性へ訪問し取材を行い、原稿作成、パンフレットデザインなどすべての制作工程を行います。社会で活躍している女性をロールモデルとして具体的にイメージすることで、自身の未来を描くうえでの学びの場を提供しています。



企業を訪問し、DE&Iやプレゼンティーズム(健康問題を原因とする生産性低下)解消のセミナーを開催しています。特に、女性活躍推進で重要な「女性特有の健康課題」解消に関するセミナーでは、座学による知識の習得だけでなく、Femcare商品を手にしながら自身の仕事にどう活用できるかという座談会も開催しており、各所で非常に好評いただいております。

## 経営計画発表会を終えて

弊社は、「快適さの維持・進化・創造」をミッションとしています。昨今、人口減少や労働力人口の変化が著しく、また社会の多様性も急速に進んでいます。引き続き皆様のお役に立てるよう、サービスの持続性と価値の創造に努力邁進して参りますので、今後ともご指導のほど何卒宜しくお願い致します。

代表取締役 酒井 秀京



三永ビルド株式会社  
代表取締役

山口義浩様



ユタコロジー株式会社  
代表取締役

酒井 秀京



テーマ

# 人生100年時代を 健康で輝き続けるために

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る - 」を合言葉に  
「建物と人のキレイと健康」に寄与する企業を目指している当社。

人生100年時代を健康で輝きつづけるための  
食事・運動・心の関係性を伺いました。

三永ビルド株式会社 代表取締役

山口義浩様

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会理事、公益社団法人全国建築物飲料水管理協会中部支部長としてビルメンテナンス業界の発展にご尽力されている。

三永ビルド株式会社

<https://sanei-build.jp/company/#aboutus>



## 正しい知識を得て実践すること

酒井 この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。

本日は同じビルメンテナンス業界で活躍され続けながら、ボディビルを通じて食事や身体づくりを科学的な見地から研究され、ウェルビーイングな生活をされている山口社長に、100年健康でありつづけるためのポイントを伺いたくお時間をいただきました。

まず、山口社長がボディビルを始められたキッカケを教えてください。

山口 25歳から35歳くらいまでボディビルのコミュニティにいたのです。当時は今ほど身体を鍛えるということが一般的でなく、本格的に競技としてやっているような人しかいない時代でしたから、食事や運動を科学的にとらえて自分を磨く彼らが非常に興味深いなと思っていました。私はビルメンテナンスの仕事が好きでがむしゃらに働いてきたのですが、仕事が決まってきた58歳の頃に当時の知人がボディビルをまだ続けていることを知って、もう一度本格的に挑戦してみようと思い、週4-5日トレーニングするようになりました。

酒井 いつもオシャレでスタイリッシュなお姿を拝見していて、理想的な年齢の重ね方だと憧れております。

● 大会で表彰されるほど美しい身体をメイクされていますが、秘訣はどういったことがあるのでしょうか。

山口 まずは、正しい知識をつけることだと思います。ボディメイクを再開して以来パーソナルトレーナーを付けるようになり最先端の科学トレーニングを知るようになったのですが、例えばYouTubeやメディアでお話されている方の多くが旧態依然な発信をしていることが分かるようになりました。どれだけ頑張っても効果につながらないことでは、続けることが難しいです。

酒井 具体例としてはどのようなことがあるのでしょうか。

山口 最近では、大切な栄養摂取を考えるうえで、PFCバランスというものがあります。タンパク質、脂質、炭水化物のバランスが重要と言われており、例えばダイエットしたい人が陥りがちですが、糖質を極度に抑えてタンパク質だけを多く摂取しても健康的な身体づくりはできません。さらに、このバランスを意識した食事を規則正しく1日3回摂る方が良いというのがトレンドです。忙しくて食事を抜いたり、減量のために何かで置き換えたりする方がいますが、最先端の理論ではNGな行為です。

● ボディメイクという点で言えば、このような食生活があつてのトレーニングですから、バランスの良い食事を3回とれる生活サイクルをつくる、ということが大切です。



▲企業のトップとして現役で活躍されながらボディビルのコンテストで表彰台にあがる山口社長。



## 人生100年時代を若々しく輝くために

**酒井** 我々の所属するビルメンテナンス業界、特に清掃作業の主な担い手はシニアの方々である現状があります。皆さんにいつまでも元気で活躍し続けていただきたいと考えていますが、シニアの方々はどういうことを意識していけば良いでしょうか。

**山口** 前述のとおり、まずは食事、特にタンパク質です。年齢問わず不足しがちな栄養ですが、シニアの方々は筋力低下に繋がるので、特に意識されるのが良いでしょう。一般的には1日で自分の体重と同じg数を摂る(体重60kgの方であれば60g。推奨は1.5倍の90g)が必要と言われています。最近では、医者から勧められることもあり、シニアの方もプロテインを利用される方が増えているようです。そのうえで筋力を維持・向上させるための運動が必要ということです。また、若々しさや美しさを維持するためにも、年齢に関わらず丁寧な生活習慣をつくるのが基本です。

**酒井** 私自身も食事のバランスを意識するようにはしていますが、どうしても味気ないものが増えてしまいます。

**山口** そうですよ。例えばタンパク質を食事から摂取するにしても肉、魚、卵、豆など色々な種類がありますから、食材の含有量を知ることも必要です。無理をすると続きませんから、楽しみなが



## ～対談を終えて～

“人生100年時代をどう輝くか”という観点から「今日よりも良いと思える明日を創る(ウェルビーイング)」会社を中期ビジョンに掲げる当社において、ウェルビーイングの定義である「心身の健康と社会的な繋がりが満たされていること」とビルメンテナンス業界の親和性を再確認することができました。建物と人のキレイと健康をお届けし、多くの企業様へ貢献できよう尽力してまいります。このような貴重な機会をいただき、ご縁に感謝いたします。

ら継続できる気持ちで取り組むこと、つまり習慣にしていけることが大切だと考えています。

単純に「健康のため」ではモチベーションにならない方もいますから、その先どのような楽しみに繋がるか、ということイメージしても良いと思います。人生100年時代ですから、趣味でも押し活でも仕事でも、なんでも良いですが、今日よりも良いと思える明日、好奇心をもって未来の楽しみを見つけることもバランスの良い食事を摂るためのモチベーションになるのではないのでしょうか。

**酒井** よく理解できました。楽しみながら言えば、ビルメンテナンス業界では、運動を兼ねてというものであったり、社会との接点を持ち続けるというものであったりと経済的な理由以外で就業いただく方も多いですね。

**山口** そうですね。私はこの業界で50有余年働いていますが、運動で言えばビルメンテナンスの清掃業務は全身運動になりますから、例えば作業中に肩甲骨を意識して大きく動かしてみるとか、階段昇降で足を少し高く持ち上げてみるとか、やり方次第でトレーニングジムに通わなくても良いような運動になります。最近注目されているロコトレと同様の効果も期待できると思います。

社会との繋がりという面でも、お客様や同僚と楽しくコミュニケーションを取りながら体力づくりの運動になる、健康にもなる本場に良い仕事だと思います。

**酒井** 当社ではビルメンテナンスはウェルビーイングの根幹を担う仕事であると定義づけていますが、お客様だけでなく、働いてくださるスタッフさん自身のウェルビーイングへも貢献できる仕事であることが再認識できました。

本日は貴重なお話をありがとうございました。



# ニュース



ビルメンテナンスのあらゆる現場を担う業務部より、旬なニュースをお届けします！

BM NEWS

## 速報 東京SSがオープンしました

1月23日、東京都中央区新川に東京SS（サテライトスペース）がオープンしました。東京メトロ「茅場町」またはJR、東京メトロ「八丁堀」が最寄り駅となります。

ビル環境事業やWell-being事業で関東エリアのお客様とは既にお取引をさせていただいておりましたが、この度東京に事務所を構えることで、より一層お役に立ちできる環境を整えることができました。

①BCPとしての拠点づくり ②ユタコロジーの価値の伝播 ③新たなビジネスモデルの構築

を実現する拠点として活用し、創業以来積み重ねてきたノウハウと「しなやかな挑戦」で、これからもお客様のご要望にお応えしてまいります。

BM NEWS

## 速報 バイク(キャンピー)による清掃巡回をスタートしました。

お客様からのご要望を、より迅速に、よりの確にお応えするため、バイクによる清掃巡回業務をスタートしました。現在は、時間仕様が無い物件の共有空間清掃をおこなう部隊として巡回しております。

弊社ではこれまで公共交通機関や自動車での移動が中心でありましたが、バイク隊導入により、高い機動性をもつつも駐車場が不要というお客様へご負担もおかけしない方法でご依頼にお応えすることが可能となりました。

現在は名古屋市内でテスト導入中ですが、本格運用後は随時増員を予定しております。

BM NEWS

## 速報 レンジフード、換気扇清掃

学生寮のレンジフード、換気扇清掃をご依頼いただきました。

今回は、学生の方々が日常的に使われている換気設備の清掃です。

非常に頑固な油汚れでしたが、特殊な方法で清掃を行うことで汚れを除去することができお客様にも非常に喜んでいただけました。

ただ、軽微な汚れの清掃と比較すると、どうしても設備に負担がかかってしまうことは否めません。定期的にご依頼をいただくことで美観を保ちつつ、設備も長持ちさせることができます。

お困りのお客様は、ぜひ一度弊社にご相談くださいませ。



BM NEWS

## 速報 労災VR体験

昨年12月17日、お客様先で開催されたVR（バーチャル・リアリティ）の事故被災体験に参加してまいりました。

これは安全衛生活動の一環として開催されたもので、私どもは脚立作業の際に転倒するシミュレーションを体験させていただきました。

以前参加させていただいたまものと比べ、画質が非常に高精度になっていることで、より実際の事故に被災した感覚を得ることができ、改めて事故は怖いものだとの再確認することができました。

過去の事故事例から決められている作業ルールの順守を大前提として、当社の定める安全三大運動（TBM・KYの実施、指差呼称、声掛け運動）を忠実に実践しつづけることが事故を未然に防ぐために大切なことであると気付くことができました。

この度は貴重な経験をいただき、誠にありがとうございました。



空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。  
Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

## REPORT 1 産学連携プロジェクト制作雑誌の完成報告会を開催しました♪

1月16日、椋山女学園大学現代マネジメント学部東ゼミと弊社との産学連携プロジェクトで制作した雑誌の完成報告会が開催されました。

本プロジェクトは、「学生の、学生による、学生のためのパンフレット」というコンセプトのもと、取材依頼、取材、原稿作成、デザインの全てに学生が携わり、就活応援雑誌『Work in Beautiful Life～働きながら輝く～』を制作しました。

完成報告会では、椋山女学園大学 黒田学長と現代マネジメント学部東教授によるご挨拶に続き、協力・協賛企業の皆様に向けて、学生たちからプロジェクトを通じて得た学びと成果についての発表が行われました。

学生たちからは、社会で活躍する女性の姿を間近に感じることで、自身のキャリアや働き方について具体的に考える良いきっかけになったとの声がありました。企業の皆様からも、採用面のみならず社員のエンゲージメント向上にも繋がる機会だったと、高くご評価いただき、双方にとって実りのあるプロジェクトとなりました。



また、このパンフレットは、4月中旬より就活ガイダンスにて新3年生へ配布される予定です。

なお、2025年度も本プロジェクトの実施が決定しておりますのでどうぞご期待ください。

## REPORT 2 名古屋市立若宮高等特別支援学校へ視察を行いました

1月22日、障がい者雇用推進の一環として、名古屋市立若宮高等特別支援学校へ視察を行いました。

こちらは、名古屋市初の高等特別支援学校として2024年6月に開校し、一期生が40名在籍しています。軽度の知的障がいのある子ども達が就職を目指して入学し、入学後は一般教育科目と並行し進級とともに【クリーン（清掃）】【ファクトリー（製造）】【ストア（小売り）】【フード（飲食）】【ホーム（クリーニング）】のどれかを専攻し、専門技術を習得していきます。

2年生の後半からは校外での実地研修の比重が高くなり、即戦力として社会人デビューできるようなカリキュラムが用意されていました。

昨年開校したばかりということもあり1年生しか在籍していませんが、皆さんキラキラした表情で熱心に授業に取り組まれていた姿がとても印象的でした。弊社内でも多くの障がい者の方々に活躍いただけるような体制・環境づくりを推進していくとともに、障がい者雇用推進を検討されている企業様との橋渡しもできればと思いました。



REPORT 3 「あいちカーボンニュートラルチャレンジ」のチャレンジランクに認定されました



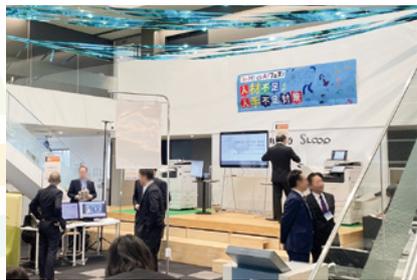
あいちCo2削減マニフェストに代わり今年スタートした「あいちカーボンニュートラルチャレンジ」のチャレンジランクに認定されました。なかなか取り組みが難しいとされるサービス業の脱炭素対応について、当社に出来ることを1つずつ積み重ね、地球のために、地域のために、お客様や当社に係わる関係者の皆様に対して引き続き「Make Tomorrow Go Better-今日よりも良いと思える明日を創る」企業であるよう尽力してまいります。

REPORT 4 「わくわくMIRAIフェス2024Winter」に招待いただきました!

12月5日、6日の2日間、福井キャンノン事務機株式会社(福井県福井市)で開催された「わくわくMIRAIフェス2024Winter」に招待いただきました! Fem+出展を契機に生まれたご縁でお声掛けいただけたこと、本当に感謝いたします。「わくわくMIRAIフェス」とは、福井キャンノンが主催の社屋SL∞pを使用し、「健康経営」「ドキュメントソリューション」などテーマを変えて開催されている展示会です。

今回は、「人材不足・人手不足対策」をテーマとし、福井キャンノン様のお取引先様を招いて開催されました。

当社はWell-beingカテゴリとして、主に「ダイバーシティ・女性活躍」に関する相談会を実施。多くの企業様からお困りごとを相談いただきました。人材採用や従業員定着の今後の在り方は、どの企業様も非常に関心が強く、弊社のブースでは、特に男性経営者や管理職の方を中心に驚きと感心が混ざった、とても素敵な時間を過ごしていただけたかと思えます。女性来場者の方々は、フェムケア商品について様々な意見をくださり、自社の女性活躍の取り組みとして前向きに検討したいという有り難いお言葉をたくさん頂きました。



SDGs、DE&I、女性活躍など、より良い取り組みをと考えていらっしゃる企業様のお力になれるよう、これからも邁進してまいります。



REPORT 5 Femcare Sessionを開催させていただきました

3月10日株式会社トーエネック様(名古屋市中区)の女性技術者研修内にて、Femcare Session「ヘルスリテラシーを向上して“働きながら輝く”を目指す」を開催させていただきました。入社3年目以降の女性社員技術者の方を対象に、「働く女性と健康課題の関係」の講義、また健康課題への対応策としてフェムケア商品の紹介とグループでの意見交換を行うプログラムを実施。特にフェムケア商品は初めて知ったという方も多く、「興味はあるが未知なので怖さが勝る」「使いこなせるか不安。ただ生涯費用が従来品に対して抑えられるのはいいと思った」など、働く環境を改善する観点から忌憚ない感想や意見をいただきました。

今後も、東海エリアの企業様を中心に「働く女性のヘルスリテラシーの向上」の啓発を行い、企業様、働く従業員の方のWell-beingに貢献してまいります。

